

2026 年 1 月 7 日
株式会社ジェイ・エス・ビー

**食事付き学生マンションの食堂が「学び」「成長」「つながり」の場に！
武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部 教育寮生と取り組む
楽しく学ぼう！『もぐもぐ食堂』／救命体験『いのちのバトン PJ』イベント開催報告**

UniLife(ユニライフ)のブランドで全国の学生マンションの企画開発・仲介斡旋・運営管理までをトータルで行う株式会社ジェイ・エス・ビー（本社：京都府京都市、代表取締役社長：森 高広以下、当社）は、その一部を武蔵野大学のアントレプレナーシップ学部の教育寮として利用する食事付きマンション「学生会館ラティエラアカデミコ三鷹」にて、入居学生の学び・成長・つながりの創出を目的としたイベントを定期開催しています。今回は、直近に開催された近隣の子供たちを招待しての食育イベント「もぐもぐ食堂」と一次救命処置を学ぶ「いのちのバトンプロジェクト」をご紹介します。



写真左「もぐもぐ食堂」／右「いのちのバトンプロジェクト」イベント風景

【楽しく学ぼう！『もぐもぐ食堂』】

2025 年 11 月 22 日、『楽しく学ぼう！もぐもぐ食堂』と題した、地域の小学生を招いての交流や食育・フードロスをテーマにしたイベントを開始しました。同会場では昨年に続き 2 回目の開催で、地域の小学生 13 名が参加しました。

今回のイベントでは、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教育寮の学生 7 名が、参加者（地域の小学生）の招致と当日の運営を担いました。

また、8 月に教育寮の取り組みとして実施した福島の「農 Work 旅ツアー」での繋がりを活かし、「福島食」を知ることでもテーマとしました。



<ワークタイム>

小学生 2~3 名とサポート役の大学生 1 名が 1 つのチームになって食育や福島のことなどクイズ形式で学びました。

<昼食タイム>

JA ふくしま未来様よりご提供いただいた福島の食材を使用した特別なお昼ごはんを全員で美味しく頂きました。

<交流タイム>

食後の自由時間では、大学生が小学生の持参した宿題を教えたり、一緒にゲームを楽しむなど、和やかな雰囲気の中で良い交流が生まれました。

参加した大学生にとっては、初対面の子供たちとコミュニケーションを取り、短時間で関係を築き、主旨に沿った話し合いや考えを纏めさせるといった共感や誘導を体験的に学べたのではないのでしょうか。また、参加者を集める場面では、福祉団体や行政など様々な団体に出向いて協力を得るといった、当日のイベント運営だけでなく参加者の招致までも熱心に取り組みました。

■開催日時：2025 年 11 月 22 日（土）11:00~14:30

■実施内容：児童と学生で昼食／フードロスや武蔵野市・福島県クイズの実施／交流会（宿題サポート、レクリエーション）／お土産のお渡し（福島そうま地区のブロッコリー他）

■参加者：小学生児童とその保護者および兄弟、武蔵野大学の学生

・小学生：13 名（1~3 年生：10 名、4~6 年生：3 名）

・幼児（兄弟姉妹）：2 名 / 保護者：8 名

・運営：武蔵野大学生 7 名・教員 1 名・当社スタッフ 2 名

■当日のメニュー：

福島の新米ご飯／ローストポーク／茶碗蒸し／こぶゆ風けんちん汁（福島郷土料理風）／きゅうりの漬物／さつまいもアイス（福島のきゅうりと新米を使用）



■参加学生の感想

- ・小さな子どもと関わる機会が社会福祉学科でもそんなになく、授業で学んだことの実践につながって楽しかった
- ・ご飯が美味しかったし子ども達と遊ぶのも楽しかったです。すごく楽しくて、幸せな時間
- ・子供たちの笑顔と食事のメニューが豪華で最高
- ・小学生と接する機会がないので貴重な機会
- ・やってよかったと思える企画で大満足
- ・大学生としても楽しかった
- ・新米のコシヒカリが美味しかった

【一次救命処置体験『いのちのバトンプロジェクト』】

2025 年 10 月 13 日、株式会社ナスメンの秋吉氏を食堂にお招きし、一次救命処置（心肺蘇生術）の実践講習を実施しました。この講習は、学生自身が目の前の命を救うことに対し、正しい知識と理解を持ち、実際に行動に移せるようになることを目指して実施しました。

現在、日本では年間約 9.1 万人が心臓を原因とする「突然死」が発生しています。7 分に 1 人が亡くなっている計算になり、身近でそのような場面に遭遇することも珍しくはありません。



講習冒頭で「もし街中で知らない人が倒れていたら助けますか？」と問いかけたところ、「誰かがやってくれるだろう」と他人任せにしている自分に気づく学生が多く見られました。しかし、「もし自分の大切な家族や友人だったら？」と想像した際には、助けたい気持ちが強くなる一方、実際に行動に移せるか不安を感じる学生がほとんどでした。

この「命を救うことへの捉え方の違い」、そして「大切な人を守れないかもしれない現状」を理解した上で、心肺蘇生の実践講習に入りました。

実践では、人前で急に人が倒れたという街中の状況を想定し、周りの人へ助けを求め、胸骨圧迫を声を掛けながら交代で行い、即座に役割分担をする訓練を行いました。これにより、自身の力だけでなく、周囲の人々の助けを巻き込むことの重要性を学びました。

■開催日時：2025 年 10 月 13 日（月）13:00～15:00

■講師：一次救命処置体験や講習を行う「命のバトンプロジェクト」を推進し、男性看護師の存在を世の中に認知してもらう為に全国各地で啓発活動を行う男性看護師集団「株式会社ナスメン」の代表取締役 秋吉 崇博 氏

■実施内容：

- ・座学（Nurse-Men の活動／今あなたは命を助けられますか？／心臓突然死について）
- ・実技（実際の現場を想定し胸骨圧迫をチームで実践）
- ・CPR レース（心肺蘇生術の技術をチームで競う）

■参加者：武蔵野大学アントレプレナーシップ学部の学生 6 名・職員 1 名

■参加者の感想

- ・死というものが自分の思っているよりも身近なものだということを認識することが出来た。
- ・どうしてその行為をするのか、その行為に移るのか分かりやすく覚えやすかった。
- ・リアルをイメージしながら受けることができたので、とてもためになり、受講する向き合い方も全く変わりました。ただの救命方法よりも 100 倍深い物を得られた気がします。
- ・ただの救命救急講習とは全然違って、向き合い方、考え方、受け方がすべて変わりました。
- ・実際に大切な人の命を守るために良い勉強になったと思います。
- ・ただの作業じゃなくて、これで人が救えるんだという気持ちで受けられたので、とてもためになり、受けてよかったと本気で思えました！ありがとうございました！！

【 ジェイ・エス・ビー × 武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 教育寮 】

2024 年春より当社で運営を開始した食事付き学生マンション「学生会館ラティエラアカデミコ三鷹」の一部が武蔵野大学アントレプレナーシップ学部の教育寮として利用されています。武蔵野大学とジェイ・エス・ビーは連携し、起業家精神を育む同学部への学生支援として寮費の補助を行うと共に、ここが入居学生の学び・成長・つながりの場となるよう、寮生以外の学生や地域も巻き込んだイベント開催などの取り組みを行っています。

■ 食事付き学生マンション「学生会館ラティエラアカデミコ三鷹」

東京都武蔵野市中町 2 丁目 2-12

詳細はこちら⇒ <https://unilife.co.jp/view/12491/>



【当社概要】

社 名 : 株式会社ジェイ・エス・ビー
本社所在地 : 京都府京都市下京区因幡堂町 655 番地
創 業 : 1976 年 12 月
上 場 : 東証プライム（証券コード 3480）
代 表 : 代表取締役社長 森 高広
U R L : <https://www.jsb.co.jp/>
全国の学生マンション検索サイト: <https://unilife.co.jp/>



ジェイ・エス・ビーグループは 1976 年の創業以来、全国で学生マンションの運営管理を手掛け、現在では北海道から沖縄まで学生向け賃貸仲介店舗「UniLife (ユニライフ)」85 店舗を展開、2025 年 4 月時点で 99,300 室を管理しています。近年では、食事や家具家電付きの住まいの提供や、学生の「学び・成長」を支援する取り組みに力を入れています。